

第4章 食育の推進（食育推進計画）

～食べることの大切さを見つめながら、みんなで食育実践～

食は、命の源であり、人が生きていくためには欠かせないものです。また、望ましい食生活のもと、おいしく楽しく食べることは、人に喜びや楽しみを与え、生涯を通して健康で心豊かな暮らしの実現に大きく寄与します。

「食」に対する感謝の気持ちを育み、メディア等に氾濫する偏った「食」に関する情報に左右されることのない正しい知識や判断力を身に付け、実践力を伴った食育の推進が求められています。

食育の推進には、家庭、保育園、こども園、幼稚園、小中学校、地域などでのさまざまな機会を利用して、食べ物を育て、食べるまでの一連の体験を通して、自らが気づき、健康的な食生活が実践できるよう施策を組み立てることが重要になります。

湖南省では、市の特性を生かし、関係者が協力、連携しながら、さまざまな経験を通じて「食」に関する力を育む食育を推進します。

私の名前は
「湖なすちゃん」
です。



＜食育キャラクター＞

平成20年（2008年）3月第1次健康こなん21計画・食育推進計画策定時に誕生しました。最初は名前がなかったのですが、平成23年度（2011年度）に市民の皆様から名称を募集し、応募総数1,843通から「湖なすちゃん」が選ばれました。湖南省の特産物である下田なすが小さいのでこなすと呼び、湖南省の湖を合わせています。食育の啓発や広報などあらゆる機会でも活躍しています。

1 家庭における食育の推進

(取り組む方向性)

- 朝食を毎日食べる人を増やします。
- 主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食事を心がけ、実践している人を増やします。

現状と課題

食に関する情報や知識、伝統や文化等については、従来、家庭を中心に地域の中で共有され、世代を超えて受け継がれてきました。

健康寿命の延伸の観点から、家庭における日々の食生活を見直すとともに、生涯にわたり生活習慣病の予防や改善にも努めていくため、次世代に伝えつなげる食育の推進がこれまで以上に重要となっています。

これまで、「早寝、早起き、朝ごはん」をスローガンとし、食育教室や園・学校だよりなどを通じて朝食摂取の重要性を伝えてきました。また、健診の結果返しや健康教育などでバランスガイドなどを使って主食、主菜、副菜のそろった食事を3食食べることを指導してきました。しかし、今回の調査では、子どもの朝食欠食率などの改善がみられなかったため、子どもの健全な食習慣を形成するためにも家庭のライフスタイルを考慮しながら引き続き啓発をしていく必要があります。そのためには保護者をはじめとする大人が朝食を食べること、バランス良い食事をしていく重要性を認識し、実践することが必要です。



食事バランスガイドなどを参考に食生活を送る人の割合は、前回より減少し悪化しています。



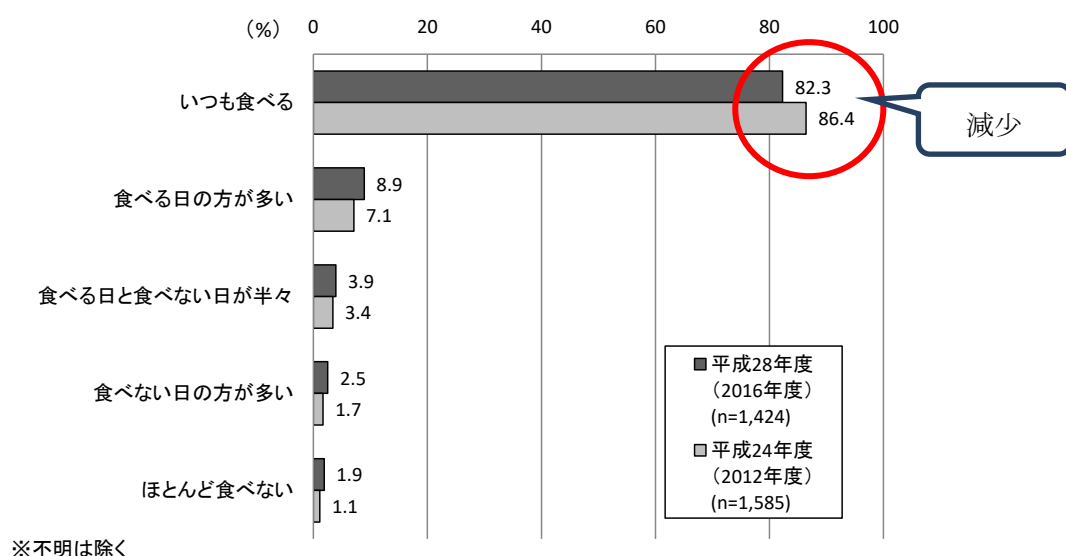
子どもにおける朝食の欠食率、孤食率が前回より増加し悪化しています。



朝食を毎日食べることについては、子どもから大人まで引き続き重点的に啓発していく必要があります。



■図 4-1-① 小学生（４～６年生）の朝食摂取状況について



出典：平成 28 年度（2016 年度）湖南市健康づくり・食育調査報告書

計画

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標
					H28 (2016)	H34 (2022)
◎重点項目 朝食を欠食する人の減少 ※	朝食を欠食する人の割合	5歳児※※	男	%	4.3	3.6
			女	%	4.8	4.1
		小5※※	男	%	11.0	9.3
			女	%	6.6	5.6
		中2※※	男	%	12.3	10.4
			女	%	8.8	7.5
		20歳代	男	%	16.2	14.5
			女	%	15.4	13.7
		30歳代	男	%	15	12.9
			女	%	18.4	16.3
家族そろっての食事の推進	ひとりで食事をしている子の割合	小5	朝食	%	22.4	20.8
			夕食	%	3.0	2.7
バランスの良い食事をしている人の増加 ※	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合	20歳以上	男女	%	—	70

※再掲（P47）

※※5歳児は「食べない」と「ときどき食べる」の合計。小学5年生と中学2年生は「ほとんど食べない」と「食べない日の方が多い」と「食べる日と食べない日が半々」の合計。

行政・関係機関・団体の取り組み

◎朝食を毎日食べることについては、重点的に啓発していきます。

○生涯にわたって家庭での食育が基本になるため、子どもの時から望ましい食習慣を身につけられるよう支援していきます。

市民の取り組み

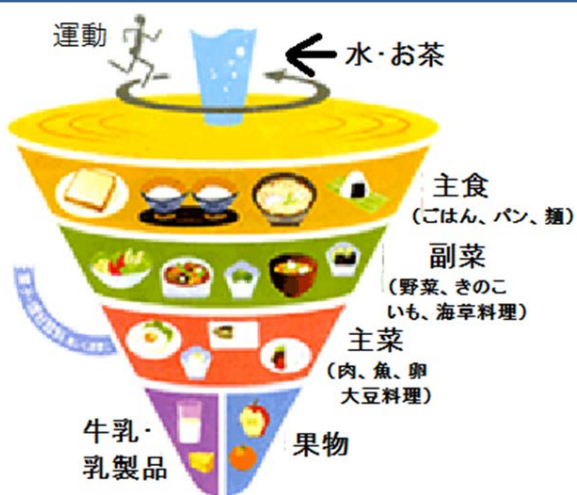
◎朝、昼、晩と毎日バランス良く3食食べます。

○家庭や地域で共食（一緒に食べること）の機会をできるだけたくさん持ちます。

一口メモ 食事バランスガイド

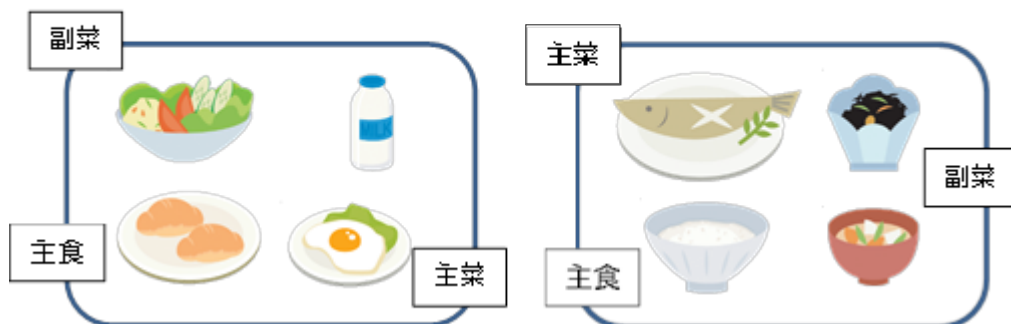
1日に、「何を」、「どれだけ」食べたらよいかを考える際の参考にできるよう、食事の望ましい組み合わせとおおよその量をイラストでわかりやすく示したものです。平成17年（2005年）6月に厚生労働省と農林水産省が作成しました。

その他、コマの回転は運動を、コマの軸は水・お茶を、ひもの部分は菓子・嗜好飲料を表しています。



一口メモ 朝食もバランス良く！

主食+主菜+副菜の組み合わせ



2 保育園、こども園、幼稚園、小中学校における食育推進

(取り組む方向性)

- 子どもの頃から食に関する正しい知識の教育や体験活動の機会に触れ、関心を持って取り組める子を増やします。

現状と課題

社会状況の変化に伴い、子どもたちの食の乱れや健康への悪影響が見られることから、保育園、こども園、幼稚園、小中学校等には、子どもへの食育を進めていく場として大きな役割を担うことが求められています。

給食の時間はもとより、各教科の時間や総合的な学習、調理や農業体験等の機会の提供を通じて、積極的に食育の推進に努めることが求められています。給食は、バランスの良い食事、安全・安心な食材、さまざまな食文化の継承等、実践的な教材として活用することができ、現在まで積極的に取り組んできました。また、調理実習等の体験活動の機会も増やしてきました。園や学校では栄養士などによる食育指導も実施し、園・学校だよりで情報提供を行うことによって保護者にも啓発を行ってきました。学校では児童生徒委員会による啓発ポスター作製や残食量コンクールも実施し、自主的な取り組みも行ってきました。一人ひとりが子どもの頃から食に関心を持って健全な食生活ができることをめざし、それが生涯にわたって健康を維持するための一助となるよう支援していきます。



学校給食における地元産農産物(米・味噌)の利用やふるさと再発見給食は100%で継続して実施できています。



ふれあい食育教室等の体験活動取り組み数は増加しています。



- ・食育に関する授業や給食における食育の取り組み、体験活動について、肥満児の減少の取り組みも踏まえながら、引き続き継続して実施していきます。
- ・小中学校への取り組みにつなげていくために、保育園、こども園、幼稚園での取り組みにもさらに力を入れていきます。



計画

目標	指標	区分	小 区 分	単 位	現状	目標
					H28 (2016)	H34 (2022)
◎重点項目 子どもを対象とした食 に関する体験活動の 推進	体験学習取り組み実施 園の割合 (各園へのアンケート)	園	-	%	100.0	100
	体験学習取り組み実施 小中学校の割合 (湖南省健康推進員協議会)	健康推進員の 食育教室	-	%	53.8 (7/13 校)	69.2 (9/13 校)
食に関する指導の充 実、食に関する啓発 活動	児童・生徒の肥満児の 割合※ (湖南の子どものからだ)	小学生	男	%	4.8	4.3
			女	%	3.4	2.9
		中学生	男	%	2.1	1.9
			女	%	4.2	3.7
	食に関する指導の取り 組み実施園の割合 (各園へのアンケート)	園	-	%	100.0	100
地元農産物を取り入 れた小中学校給食の 実施	学校給食における地元 産農産物の利用割合 (学校給食センター)	米	-	%	100.0	100
		味噌	-	%	100.0	100
		その他農産物	-	%	7.0	7.7

※再掲 (P47)

＜園給食の取り組み＞

- ・米など地場産食材の積極的な利用
- ・0・1・2歳児の自園給食
- ・栽培農作物を活用したクッキング
- ・行事食

＜学校給食センターの取り組み＞

- ・和食献立
- ・地場産物献立
- ・滋賀の郷土料理
- ・外国料理（ブラジル、インド、韓国など）



行政・関係機関・団体の取り組み

- ◎各園、各小中学校での食育指導、体験活動の機会を充実させます。
- 学校給食における地元産農産物の利用など継続して実施できているものは引き続き実施していき、見直ししながら進めていきます。
- 園、子育て支援センター、児童館、学校保健委員会と連携し、保護者への啓発も含めて食育を推進していきます。
- 食の安全、衛生について最新情報を提供し、啓発していきます。

市民の取り組み

- ◎体験学習に参加することで、身近な子どもたちの食育に積極的に関わります。
- 園や小中学校からの食育に関する話題に関心を持ち、家庭でも実践します。

3 地域における食育推進

(取り組む方向性)

- 地域住民が支え合って食育を推進できるように食育を実践する人材を充実させ、健全な食生活を送る人を増やします。

現状と課題

心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らしていくためには、生活習慣病の予防および改善や健康づくりにつながる健全な食生活の推進等、家庭、園、学校、生産者、事業所等と連携しつつ、食生活の改善が図られるよう、適切な取り組みを行うことが必要です。

湖南省では、健康推進員等の協力も得ながらあらゆる機会を用いて栄養に関する健康教育を実施してきました。しかし、野菜摂取量や塩分摂取量、脂肪エネルギー比率等少し改善しているものがあるものの、まだ目標を達成していないのが現状です。一人でも多くの人が健全な食生活を送ることができるよう、学習できる機会を増やしていく必要があります。



成人期の栄養に関する健康教育受講者数は大幅に増加し、たくさんの人に学んでもらう機会を持つことができました。



栄養に関する教室への参加促進や、食事の適正量などの知識を持ち、実践する人を増やすような取り組みを進めます。

計画

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標
					H28 (2016)	H34 (2022)
◎重点項目 生活習慣病予防と食育推進	成人期の栄養に関する健康教育受講者および栄養相談者数 (健康政策課事業実施記録)	—	延べ人数	人	1,511	増加
	地域での料理講習会参加者数 (湖南省健康推進員協議会)	—	延べ人数	人	737	増加
食育を実践するための 人材育成	健康推進員の人数 (湖南省健康推進員協議会)	—	—	人	102	108
	健康推進員のいない区の数 (湖南省健康推進員協議会)	—	区数	区	7区/ 43区	0

行政・関係機関・団体の取り組み

◎一人でも多くの人が健全な食生活を送ることができるよう、栄養や食育に関する学習の場を増やします。

○健康推進員をはじめとする食育を実践するための人材育成を進めます。

市民の取り組み

◎学習の場で学んだことを生活の中に取り入れます。

○地域や行政などで行われる栄養や食育に関する学習の場に積極的に参加します。

健康推進員の活動（広報部のチラシより）



健康推進員の各部ごとの活動

料理部

夏季冬季伝達料理（年2回）



（地域での夏季伝達料理）

研修部

一日研修、仲間のつどい



（県危機管理センターで一日研修の様様）

健康づくり部

健康まつりでの活動、ヘルスサポート事業



（夏見保健センターでの健康まつり）

広報部

食育推進月間事業

（ティッシュ配布PR活動）

食育の日啓発活動と野菜食べ隊支援

広報誌の作成（年2回）



（食育の日啓発活動等）

発行者

媒体部

くーたんの劇で栄養のお話

（保育園こども園訪問）

介護施設での体操



（ずわってずる体操）

湖南市健康推進委員協議会

広報部

4 市民との協働による食育推進運動の展開

(取り組む方向性)

- 食育に関心を持ち、実践する人を増やします。

現状と課題

食育については、これまで、毎年6月の食育月間および19日の食育の日を中心に、全国各地でさまざまな関係者がそれぞれの立場から取り組み、国民的な広がりを持つ運動として推進されてきました。

湖南省においても、広報や食育だより等を通じて食育に関する啓発を行ってきました。また、人が集まる場所に出向いて啓発活動もしてきました。今後とも市、教育関係者、農業者、健康推進員等、食育に係る関係者が主体的かつ多様に連携・協働してネットワークを築き、多様な食育推進運動を展開していく必要があります。

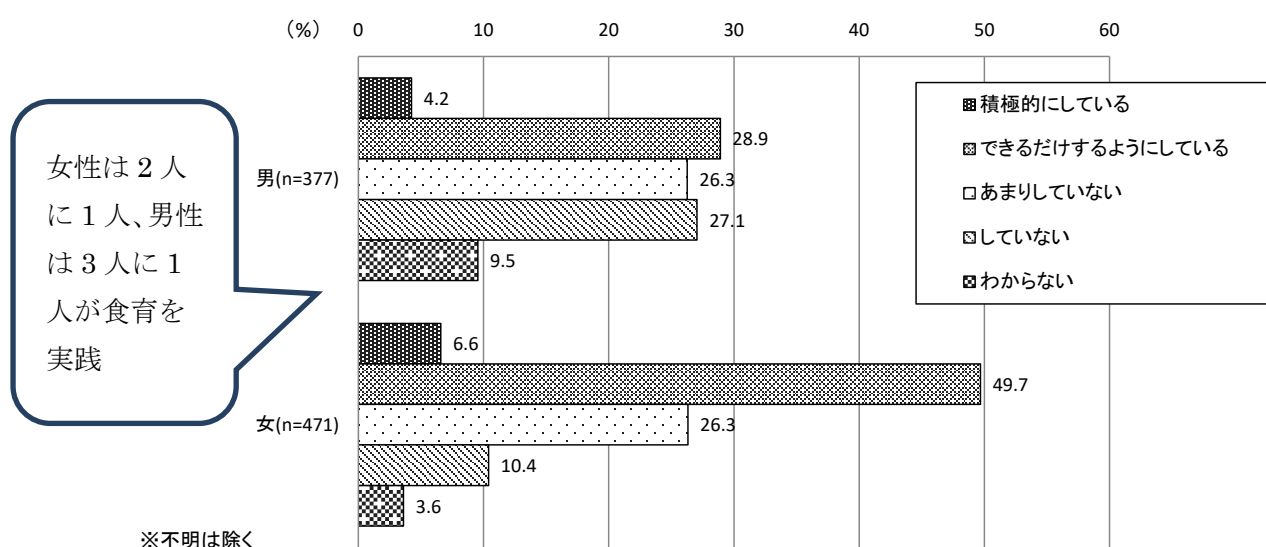


「食育月間」や「食育の日」の認知度が低いものの、「食育を実践している」人の割合は改善しています。



食育推進会議や他団体との連携によって食育に関する認知度を高め、食育の輪を広げていく取り組みが必要です。

■図 4-4-① 食育を実践している人の割合



出典：平成28年度（2016年度）湖南省健康づくり・食育調査報告書

計画

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標
					H28 (2016)	H34 (2022)
食育に関心のある人、実践する人を増やす	食育に関心のある人の割合	－	－	%	63.4	65.0
	食育を実践している人の割合	－	－	%	46.1	49.5

行政・関係機関・団体の取り組み

○市や甲賀圏域で実施している食育推進会議を通じて他団体とも連携し、食育の輪を広げます。

○一人ひとりが食育に関心を持って取り組んでいけるように、「食育月間」、「食育の日」を含め、広報やイベントなどさまざまな機会を通じて情報提供、啓発を行います。

市民の取り組み

○食育に関して発信される情報に関心を持ち、実践します。

○食育に関する啓発活動などに積極的に参加します。

一口メモ

食育月間・食育の日って何??

平成 17 年（2005 年）6 月に食育基本法が成立し、毎年 6 月は「食育月間」と定められました。食育月間では、国、地方公共団体、関係団体などが協力して、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施し、食育の一層の浸透を図ることとされています。

また、毎月 19 日は「食育の日」とされ、育（いく）という言葉が 19 をという数字を連想させることより、この日となりました。



5 環境と共生した食育の推進と食を通じたさまざまな交流の促進

(取り組む方向性)

- 食の安全や環境に配慮して食生活を送る人を増やします。

現状と課題

食料の生産は自然の恩恵の上に成り立っており、環境と共生した食育の推進が求められています。このため、地産地消の推進や生産者と消費者との交流の促進、農業体験の場づくりなど、適切な取り組みを進める必要があります。加えて、食べ残しを作らないことやエコクッキング、期限表示の理解など食品ロス削減の視点からも考えていくことが重要です。また、湖南市ではさまざまな外国人住民が暮らしており、地域コミュニティの育成を図る上でも食文化を通じた交流の促進が望まれます。

今まで市においては、地元野菜を使ったクッキング教室開催や市民産業交流促進施設「ここぴあ」の開設などによって、地産地消を推進してきました。園、学校給食においては外国料理や滋賀の郷土料理など食文化に触れる機会を作ったり、残食を減らす取り組みの実施も行ってきました。また、給食の衛生面での配慮について食材料の鮮度や調理器具の消毒など、子どもたちが安心な給食を食べられるよう取り組んでいます。今後も多種多様の文化を相互理解することや、環境に配慮した食育の取り組みを進めていくことが必要です。



環境こだわり農産物の栽培は年々増加しています。



- ・学校給食や料理講習会などで、地元農産物の利用をいっそう積極的に進める必要があります。
- ・食品ロス削減を含め、環境にやさしい食育の推進に引き続き取り組む必要があります。

計画

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標
					H28 (2016)	H34 (2022)
環境こだわり農業の理解促進	環境こだわり農産物の栽培面積	-	-	ha	315	345
農業に関する体験活動の実施	農業体験を経験した人の割合	20歳以上	-	%	-	40
伝統的な食文化の継承	地域の郷土料理・伝統料理を知っている人の割合	20歳以上	-	%	66.8	70
食品ロス削減	食べ残しを作らない努力をしている人の割合	20歳以上	-	%	89.8	92

行政・関係機関・団体の取り組み

- 地産地消や環境こだわり農産物を増やす取り組みを推進し、安全・安心な食品が食べられる環境を作ります。
- 農業体験農園の整備などたくさんの人が体験活動を経験できる機会を作ります。
- 伝統料理、外国料理、交流都市など食文化の交流は継続し、関心も高めます。
- 食品ロス削減など環境に配慮した啓発も実施します。

市民の取り組み

- 家庭菜園も含め、地元の食材を積極的に使います。
- 食品の安全性について、基礎的な知識を持ちます。
- 地域の郷土料理・伝統料理を継承し、次世代に伝えます。
- 食品ロス削減も視野に入れながら、健全な食生活を営みます。



一口メモ 湖南省の主な郷土料理

- ・いもつぶし
- ・美松寿司
- ・ごぼう料理
- ・さといも料理
- ・ところてん
- ・豆腐田楽
- ・弥平とうがらし料理
- ・下田なす料理

参考：ふるさと甲賀七彩ものがたり
(甲賀地域農業改良普及センター) 等

〔^{みまつ}美松寿司〕



一口メモ 湖南省の友好交流提携都市

北海道比布町

主な特産品 いちご

鳥取県北栄町

主な特産品 すいか
ながいも

第5章 計画の推進

1 多様な主体の役割と連携

「健康こなん21計画（第2次）」を効果的に推進するために、各分野は連携を図り積極的に取り組みます。健康づくりの成否は市民の意識改革とそれに基づく行動変容にかかっています。市民自身が健康問題に自ら気づき、主体的に取り組むことにより、地域の健康づくりは促進されます。健康づくりは個人だけでは困難であり、行政が個人の自主的健康づくり活動をさまざまな方向から支援しなければなりません。

本計画に掲げる目標の実現を図るためには、市民一人ひとりが健康的な生活習慣の大切さを自覚し、行動することが大切です。また、行政をはじめ、さまざまな地域団体が、それぞれの特性を生かしつつ、それぞれの立場で市民一人ひとりの健康づくりを支援していくことが重要です。

（1）市民の役割

健康づくりの主役は市民一人ひとりです。市民一人ひとりが、自分の身体に関心を持ち健康づくりの重要性を自覚し、生活習慣の改善のための行動を実践することが求められます。さらに、個人の活動も、集団として行うことによって、自然環境や行政施策の方向性に大きな影響を及ぼすことから、自分の住んでいる地域への関心を深め、地域活動への参加や健康づくりを支援するための公共政策の実施に向けて積極的な働きかけを行っていくことも大切です。

（2）家庭の役割

家庭は、個人の生活の基礎単位であり、食習慣など、乳幼児期から生涯を通じて望ましい生活習慣を身につけるための役割があるといえます。

また、家庭には、健康の重要性について学ぶ場であるとともに、個人や家族にとっての休息の場としての機能が求められます。

（3）地域の役割

地域での人と人とのつながりの強化やよりよいコミュニティづくりによって健康度が向上することから、区・自治会およびまちづくり協議会、老人クラブ等における地域ぐるみでの健康づくりをはじめ地域活動の活性化に取り組むことが求められます。

（4）学校の役割

学童期、思春期は、心身の発達の時期のみならず、基本的な生活習慣が形成される時期であることから、健康づくりに関しての学校保健の役割は大きいといえます。

学校は、健康について考え、学ぶ場であるとともに、健康づくりに参加する場でもあ

り、健康について学習し、適切な健康行動を選択できる能力を身につける機会を提供することが求められています。また、学校は、地域に開かれた場として、地域の人々の健康学習やネットワークづくりの場の機能を果たしていく必要があります。

（５）職域の役割

商工会、工業会、湖南工業団地協会等の職域では、その従業員の健康を支援するため、個人の健康管理のみならず、労働環境や職場のコミュニケーションの改善を図ることが重要です。また、地域社会の一員として地域への関心を深め、地域活動に参加するとともに、健康づくりのための活動の場や機会を従業員に提供するなど行政や地域との連携が求められます。

（６）関係団体・機関の役割

医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会等の団体は、保健・医療・福祉の各分野において、それぞれの専門的立場から、湖南市民や家庭・地域・学校・職域の健康づくりのための活動への積極的な参加や支援を行う役割を担っており、県や市町とも連携して、より効率的かつ効果的な活動を展開していくことが求められます。

（７）湖南市の役割

湖南市は、「健康こなん21計画（第2次）」を推進し、設定した目標を達成するため、全地域で健康づくり施策を円滑にかつ総合的に推進する必要があります。ヘルスプロモーションに基づいた健康づくりを推進し、健康を支援する環境づくりを進めていくため、市民意識の向上に向けた啓発、必要な健康情報の伝達、市民参加の促進、地域組織活動の活性化等を図るとともに、各種保健事業を実施する必要があります。

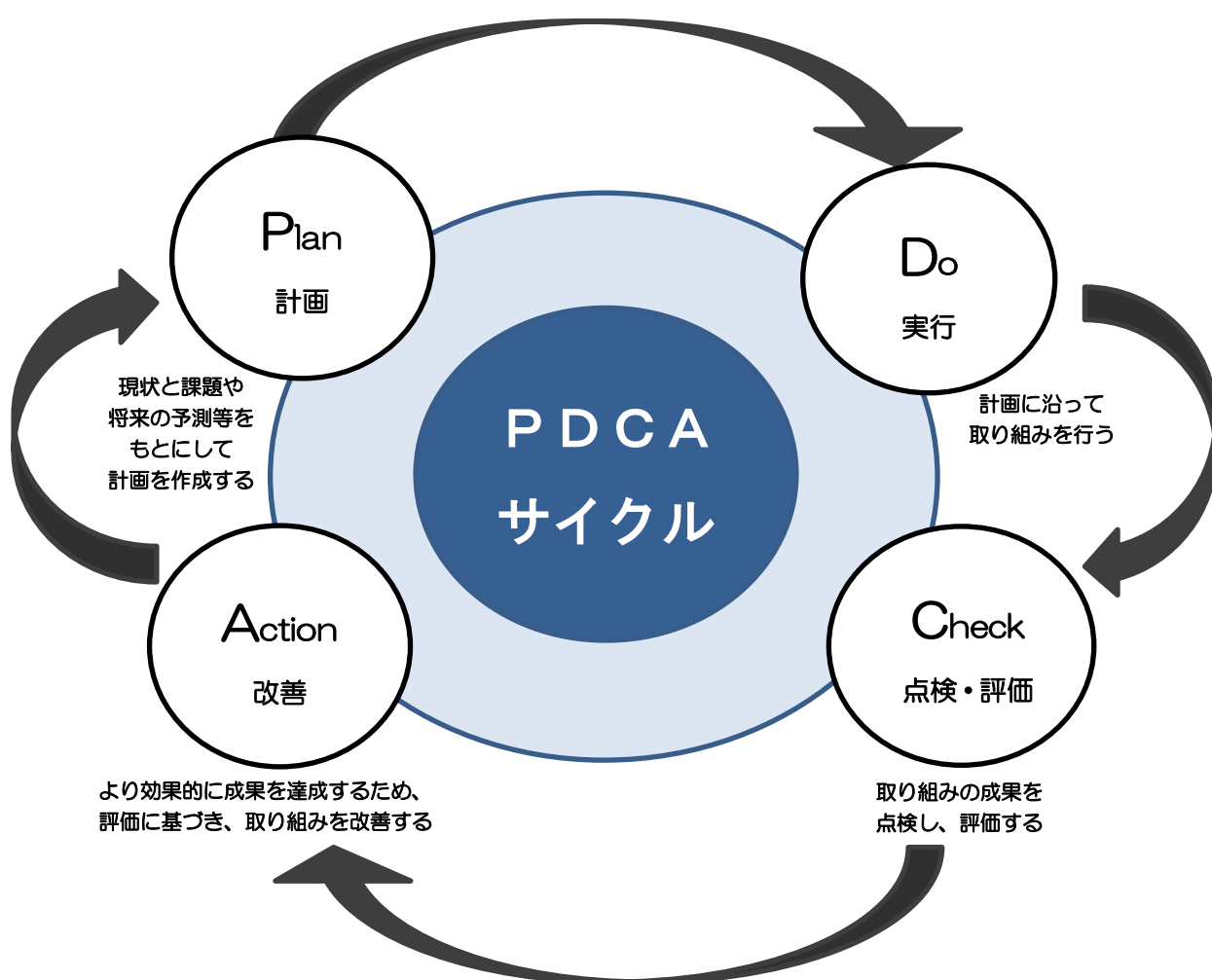
市民の生活の場に出向き、地域の健康課題を住民に伝え、その課題に応じた取り組みに対して、地区住民とともに継続的に後方支援していきます。さらに、科学的根拠に基づいた健康づくり活動が実施されるよう、健康情報の収集や提供を行うとともに、地域の健康課題を明らかにするため、大学や研究機関などとも連携を図り、調査研究や健康づくり活動の支援等を行う必要があります。

2 計画の進行管理

本計画に掲げる目標の達成に向け、計画を実効性のあるものにするために、健康づくり湖南推進協議会等の市民参加の場および関係各課による検討会議において、計画の進行管理と評価を行い、必要に応じて計画の改善を行います。

計画の進行管理と評価および計画の改善にあたっては、「計画（Plan）」「実行（Do）」「点検・評価（Check）」「改善（Action）」に基づく PDCA サイクルを基本に行います。

■図 5-2-① PDCA サイクル



1 湖南省健康こなん21計画・食育推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 健康増進法（平成14年法律103号）第8条第2項及び食育基本法（平成17年法律第63号）第18条第1項の規定に基づき、平成20年3月に策定した「健康こなん21計画・食育推進計画」のこれまでの取組みを評価・検証するとともに、基本目標を受け継ぎ、新たな課題への対応に向けた健康こなん21計画・食育推進計画（第2次）（以下「計画」という。）を策定し、市民の健康推進を図るため、湖南省健康こなん21計画・食育推進計画（第2次）策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について、意見の交換及び調整を行う。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他計画の推進に必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、18人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 医療関係者（医師、歯科医師及び薬剤師）
- (3) 保健福祉関係者
- (4) 教育関係者
- (5) 農林水産関係者
- (6) 市民の代表
- (7) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画の策定が完了するまでの期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 議長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めてその意見又は説明を聞くことができる。

(部会)

第7条 委員会は、第2条に規定する所掌事務について、調査、研究及び検討を行うため、部会を置くことができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、委員会において他の委員から開示され、又は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、健康福祉部健康政策課において処理する。

(その他)

第10条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成28年5月2日から施行し、計画策定の完了をもって廃止する。

(会議の招集の特例)

2 この告示の施行後最初の委員会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

2 湖南省健康こなん21計画・食育推進計画策定委員会委員名簿

(敬称略)

委員	氏 名	肩 書
学識経験者	安西 将也	龍谷大学社会学部地域福祉学科 教授
	船越 鈴代	健康づくり湖南推進協議会 代表
医療関係者	藤井 要	甲賀湖南医師会 代表
	中森 啓介	甲賀湖南歯科医師会 代表
	福澤 圭子	甲賀湖南薬剤師会 代表
	福井 香保里	甲賀地域活動栄養士会 代表
保健福祉関係者	荒木 勇雄	甲賀保健所長
	藤井 千代子	湖南省健康推進員協議会 代表
教育関係者	竹村 菜月 (平成 28 年度)	小中学校養護教諭 代表
	滝本 絵美 (平成 29 年度)	
	竹内 利光	湖南省スポーツ推進委員 代表
農林関係者	阪上 知佐登	甲賀農業協同組合 代表
市民の代表	峰 克司	まちづくり協議会 代表
	斎藤 幹子	市民 代表
	明智 いつ	市民 代表

3 策定委員会等の経緯

開催日	策定委員会等	議事等
平成 28 年 8 月 18 日	第 1 回 策定委員会	・健康こなん 21 計画・食育推進計画（第 2 次）の策定方針について ・健康づくり調査（案）および調査票（案）について ・食育・健康づくりに関する調査（案）および調査票（案）について ・団体ヒアリング調査（案）および聞き取り用紙（案）について
平成 28 年 9 月～10 月	アンケート 調査の実施	・健康づくり調査（20 歳以上、配布 2,000 件、回収 850 件、回収率 42.5%） ・食育・健康づくりに関するアンケート - 保育園・幼稚園・こども園（配布 1,768 件、回収 1,396 件、回収率 79.0%） - 小学校 4 年～6 年生（配布 1,510 件、回収 1,424 件、回収率 94.3%） - 中学校 1 年～3 年生（配布 1,496 件、回収 1,360 件、回収率 90.9%）
平成 29 年 3 月 23 日	第 2 回 策定委員会	・湖南省健康づくり・食育調査報告書について ・小学校区別資料について ・団体ヒアリング調査の進捗状況について ・計画書（案）の策定について
平成 29 年 7 月 18 日	第 3 回 策定委員会	・第 2 次計画の構成とスケジュール（案）について ・第 2 次計画の構成案について - 第 1 章 湖南省の現状 - 第 2 章 第 1 次計画の最終評価 ・団体ヒアリング調査の回収状況について ・委員からの意見等について
平成 29 年 9 月 12 日	第 4 回 策定委員会	・第 2 次計画の構成案について - 序 章 はじめに - 第 3 章 取り組むべき基本方向 - 第 4 章 基本方向の具体的な展開 - 第 2 節 生活習慣病の発症予防と重症化予防 - 第 3 節 各分野における健康づくりの推進
平成 29 年 11 月 20 日	第 5 回 策定委員会	・第 4 回策定委員会でのご意見シートについて ・第 2 次計画の構成案について - 序 章 はじめに - 第 3 章 健康づくりの推進（健康増進計画） - 第 1 節 健康づくりを支える社会環境の整備 - 第 2 節 生活習慣病の発症予防と重症化予防 - 第 3 節 各分野における健康づくりの推進 - 第 4 節 学区ごとの重点的取り組み - 第 4 章 食育の推進（食育推進計画）
平成 29 年 12 月 11 日	第 6 回 策定委員会	・第 5 回策定委員会でのご意見シートについて ・第 2 次計画素案について
平成 30 年 1 月 10 日～ 1 月 31 日	パブリックコ メントの実施	
平成 30 年 2 月 22 日	第 7 回 策定委員会	・パブリックコメントの結果について ・第 2 次計画案について

4 団体ヒアリング調査（第2次）の概要

（1）調査の趣旨

健康こなん21計画・食育推進計画を推進するためには、市民自身が健康目標を持ち、その達成に向けた具体的な活動・方法について意見を出し合い、共有していくことが効果的です。

そのような意見交換と共有の場として、第1次計画における聞き取りと同様、さまざまな立場の市民に対して、ヒアリング調査を実施し、計283件の回答を得ました。

（2）ヒアリング（聞き取り）の対象と実施状況

	聞き取り対象者	聞き取り担当者	回収数	聞き取り責任者
1	健康推進員	健康推進員協議会代表	63	湖南省
2	まちづくり協議会	まちづくり協議会代表	26	
3	スポーツ団体 参加者	市民代表およびスポーツ推進員代表	15	
4	企業 従業員	湖南省健康政策課職員	5	
5	老人クラブ 参加者	湖南省健康政策課職員	9	
6	健康貯金教室 OB	湖南省健康政策課職員	16	
7	男性の料理教室 参加者およびそのOB	湖南省健康政策課職員	21	
8	歯科医院 受診者	甲賀湖南歯科医師会代表	23	
9	乳幼児健診等来所者	湖南省健康政策課職員	42	
10	湖南省役所職員	湖南省健康政策課職員	24	
11	生活保護受給者他	湖南省社会福祉課職員	5	
12	成人健診受診者 (結果返却時に回答)	湖南省健康政策課職員	10	
13	医療センター	湖南省健康政策課職員	7	
14	百歳体操	湖南省健康政策課職員	17	

5 第1次計画の目標達成状況一覧

第1章 健康こなん21計画（第1次）

1. 栄養・食生活

凡例：
◎ 重点項目
○ 継続
△ 見直しの上継続

(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)										最終評価				データソース		今後の方向性					
区分		小区分	単位	基準・現状	目標	現状	目標	現状	達成率	評価区分	評価得点	総合評価得点			区分	備考					
●栄養状態、栄養素(食物)摂取について(8項目)																					
1.1 児童・生徒の肥満児の減少〔重点項目〕	小学生	男	%	5.7	4.0	3.8	3.0	4.8	33%	C	2	2.3	湖南の子どものからだ	○							
		女	%	3.2	2.2	2.6	2.2	3.4	-20%	D	1										
		中学生	男	%	4.6	3.2	1.9	1.5	2.1	81%	B						3				
	15～29歳	女	%	5.2	3.6	4.3	3.6	4.2	63%	B	3	2.0	参考:成人特定健診結果	○							
		男	%	20.8	15以下	28.3	15以下	19.5	22%	C	2										
		20～60歳代	女	%	27.9	15以下	28.5	15以下	25.1	22%	C						2				
	40～60歳代	女	%	19.4	10以下	19.7	10以下	16.6	30%	C	2	2.0	アンケート結果	○							
		男	%	26.2	25以下	29.6	25以下	29.5	-275%	D	1										
		20～40歳	女	%	28.1	25以下	29.6	25以下	31.3	-103%	D						1				
	成人	男	g	11.2	10未満	11.3	10未満	10.8	33%	C	2	2.5	平成27年度滋賀の健康・栄養マップ	○							
		女	g	10.4	8未満	10.1	8未満	8.6	75%	B	3										
		成人	g	24.54	350以上	251.1	350以上	290.1	43%	C	2						2.0	平成27年度滋賀の健康・栄養マップ	○		
	成人	男	%	71.4	100	74.0	100.0	69.5	-7%	D	1	1.0	アンケート結果	△	指標の見直し						
	成人	女	%	84.4	100	85.0	100.0	81.1	-21%	D	1										
	成人	mg	452	600	459	600	481.0	20%	C	2	2.0					平成27年度滋賀の健康・栄養マップ	○				
●知識・態度・行動レベルについて(8項目)																					
1.6 標準体重に近づけるよう、あるいは維持しようとしてくついている人の割合	15歳以上	男	%	47.1	75以上	54.7	75以上	59.2	43%	C		2	2.0	平成27年度滋賀の健康・栄養マップ	△					指標の見直し	
		女	%	64.3	90以上	74.2	90以上	72.7	33%	C	2										
		成人	男	%	68.7	82.4	61.5	82.4	66.1	-19%	D	1				1.0	アンケート結果	◎			
	15～19歳	女	%	72.3	86.8	59.7	86.8	58.6	-94%	D	1	4	平成27年度滋賀の健康・栄養マップ	○							
		男	%	23.5	7以下	15.4	7以下	6.3	104%	A	4										
		20歳代	男	%	19.6	15以下	23.8	15以下	16.2	74%	B					3					
	新規	女	%	...	...	22.2	17.8	15.4	155%	A	4	3.2	平成27年度滋賀の健康・栄養マップ	○							
		30歳代	男	%	22.5	15以下	19.1	15以下	15.0	100%	A						4				
		新規	女	%	...	...	11.1	8.9	18.4	-332%	D						1				
	1～5歳	男	%	92.9	100	95.5	100.0	92.9	0%	D	1	1.0	アンケート結果	◎							
		小4～中3	男	%	87.8	100	82.4	100.0	80.0	-64%	D						1				
		小5	朝食	%	15.6	12.5	21.7	12.5	22.4	-219%	D						1	1.0	アンケート結果	○	
	中2	夕食	%	2.3	1.8	2.1	1.8	3.0	-140%	D	1										
		朝食	%	40.3	32.2	44.9	32.2	32.2	-	D	1										
		夕食	%	7.4	5.9	4.9	0.7	7.4	-	D	1										
成人	男	%	61.1	73.3	64.5	73.3	71.1	82%	B	3	3.0	アンケート結果	○								
	女	%	75.8	91.0	75.5	91.0	84.3	56%	B	3											
	男	%	21.1	30以上	18.9	30以上	28.9	88%	B	3						2.5	アンケート結果	○			
女	朝食	%	36.0	55以上	34.5	55以上	41.6	29%	C	2	1.0	アンケート結果	○								
	夕食	%	60以上	60以上	46.0	60以上	44.5	-11%	D	1											
	朝食	%	7.4	5.9	4.9	0.7	7.4	-	D	1											
成人	男	%	93.0	69.9	93.0	69.9	72.0	9%	C	2	2.0	アンケート結果	△	指標の見直し							
	女	%	72.4	72.0	72.0	72.0	72.0	-	D	1											
	朝食	%	7.4	5.9	4.9	0.7	7.4	-	D	1											
●環境について(3項目)																					
1.12.1 地域において健康や栄養に関する学習の場を提供する機会を増加し、それに参加する人の増加	集会	回数	回	724	増加	720	増加	1,087	—	A	4	4.0	H28年度活動報告書	△							
		参加人数	人	10,534	増加	5,749	増加	8,879	—	A	4										
		対話訪問	回数	237	増加	446	増加	405	—	A	4										
1.12.2 市で開催する食事あるいは運動に関する学習の場に参加したことがある人の割合	成人	参加人数	人	768	増加	764	増加	1,432	—	A	4	3.0	アンケート調査	○							
		男	%	8.7	10.4	12.2	14.6	9.0	5%	C	2										
		女	%	17.0	20.4	20.0	20.4	21.4	129%	A	4										
1.12.3 健康推進員の増加	健康推進員の人数	参加人数	人	91	増加	104	増加	102	—	A	4	4.0		○							
		対話訪問	回数	237	増加	446	増加	405	—	A	4										
		朝食	%	7.4	5.9	4.9	0.7	7.4	-	D	1										

2. 身体活動・運動

		(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)				中間評価			最終評価				データソース	今後の方向性	
		区分	小区分	単位	基準・ 現状 H16～18	目標		達成 率	評価 区分	評価 得点	総合 評価 得点				
						現状	目標								
						現状 H25	目標 H29					現状 H28			
2.1 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している市民の増加(新規)	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っている市民の割合(新規)	40歳以上	男	%	30.3	36.4	32.6	36.4	30.0	-5%	D	1	1.0	アンケート調査	○
2.2 日頃から自分の健康づくりのために意識的に運動を実行している人の増加〔重点項目〕	日頃から自分の健康づくりのために意識的に運動を実行している人の割合		女	%	29.2	35.0	30.5	35.0	32.4	55%	B	3	2.0	アンケート調査	◎
2.3 徒歩10分で行けるところへ出かける時、主に徒歩で出かける人の増加	徒歩10分で行けるところへ出かける時、主に徒歩で出かける人の割合	40歳以上	男	%	35.0	44.5	39.3	44.5	39.1	43%	C	2	1.5	アンケート調査	○
			女	%	41.5	50.4	36.4	50.4	40.7	-9%	D	1	2.5	アンケート調査	○
2.4 1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している人の増加〔重点項目〕	1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している人の割合	成人	男	%	14.6	19.9	19.6	19.9	16.2	30%	C	2	2.5	アンケート調査	○
			女	%	12.5	17.8	15.6	17.8	16.6	77%	B	3			
平均値(加重平均)													1.9	1.8	

3. 休養・こころの健康

(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)										中間評価			最終評価				データソース	今後の方向性	
区分	小区分	単位	基準・ 現状 H16～18	目標 H29	現状 H25	目標 H29	現状 H25	達成率	評価 区分	評価 得点	総合 評価 得点	区分		備考					
3.1 最近1ヶ月間にストレスを感じた人の減少 〔重点項目〕	最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合	成人	男	%	58.8	49以下	52.3	49以下	54.6	28%	C	2			アンケート調査	○			
		女	%	66.9	49以下	66.6	49以下	68.6	-9%	D	1								
	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合	20歳以上	男	%	18.6	16.9	20.9	16.9	24.1	-324%	D	1			アンケート調査	○			
		女	%	17.8	16.2	19.5	16.2	19.5	-106%	D	1								
3.2 睡眠の確保のために睡眠補助剤(睡眠薬など)を使うことのある人の減少	睡眠の確保のために睡眠補助剤(睡眠薬など)を使うことのある人の割合	20歳以上	男	%	8.5	6.9	6.9	6.9	8.0	31%	C	2			アンケート調査	△	指標の見直し		
		女	%	11.4	8.0	14.8	8.0	10.1	38%	C	2								
	自殺者数	計	人	7	0	12	0	10	-43%	D	1						◎		
		男	人	5	0	9	0												
3.3 自殺者の減少〔重点項目〕	自殺者数	女	人	2	0	3	0												
平均値(加重平均)													1.4	1.4					

4. 生きがい

		(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)					中間評価			最終評価				データソース	今後の方向性	
		区分	小区分	単位	基準・現状 H16～18	目標		達成率	評価区分	評価得点	総合得点					
						現状	目標									
						現状	目標									
4.1 生きがいをもってしている人の増加〔重点項目〕	生きがいをもってしている人の割合	65歳以上		%	86.7	100	84.5	100	84.5	-17%	D	1	1.0	アンケート調査	○	
4.2 外出について積極的な態度をもつ人の増加	外出について積極的な態度をもつ人の割合	65歳以上		%	68.6	78.3	63.7	78.3							△	指標の廃止
4.3 何らかの地域活動を実施している人の増加〔重点項目〕	何らかの地域活動を実施している人の割合	65歳以上	男	%	44.7	53.6	42.1	53.6	37.5	-81%	D	1	1.0	アンケート調査	○	
			女	%	42.7	51.2	33.9	51.2	41.6	-13%	D	1				
4.4 ボランティア登録者数の増加	ボランティア登録者数			人	767	増加	790	増加	854	—	A	4	4.0	ボランティアセンター	○	
平均値(加重平均)													1.8	2.0		

5. たばこ

(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)										中間評価			最終評価			データソース	今後の方向性		
区分	小区分	単位	基準・ 現状	目標	現状	目標	現状	達成 率	評価 区分	評価 得点	総合 評価 得点	区分	備考						
5.1.1 たばこが体に及ぼす被害を知っている未成年者の割合	肺がん	%	86.7	H29 100.0	H29 100.0	H29 100.0	H28 100.0	100%	A	4	3.5			平成27年度滋賀の 健康・栄養マップ	△	指標の見直し			
	喘息	%	53.3	64.0	71.4	85.7	93.5	124%	A	4									
	気管支炎	%	60.0	72.0	82.1	98.5	93.5	87%	B	3									
	心臓病	%	53.3	64.0	71.4	85.7	87.1	104%	A	4									
	脳卒中	%	76.7	92.0	67.9	92.0	80.6	25%	C	2									
	胃潰瘍	%	46.7	56.0	53.6	56.0	54.8	87%	B	3									
	妊娠に関連した異常	%	83.3	100.0	96.4	100.0	100.0	100%	A	4									
	歯周疾患	%	55.2	66.2	67.9	81.5	87.1	121%	A	4									
	15～19歳	男	%	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100%	A		4	4.0				平成27年度滋賀の 健康・栄養マップ	○	
		女	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100%	A		4							
5.2.1 たばこが体に及ぼす被害を知っている人の割合(成人)	肺がん	%	90.6	100.0	93.0	100.0	93.6	32%	C	2	2.0	アンケート調査	◎						
	喘息	%	72.6	100.0	76.4	100.0	82.6	36%	C	2									
	気管支炎	%	81.1	100.0	83.8	100.0	88.4	39%	C	2									
	心臓病	%	64.1	100.0	64.5	100.0	69.8	16%	C	2									
	脳卒中	%	64.0	100.0	67.7	100.0	72.2	23%	C	2									
	胃潰瘍	%	49.7	100.0	78.8	100.0	51.3	3%	C	2									
	妊娠に関連した異常	%	74.9	100.0	80.3	100.0	83.3	33%	C	2									
	歯周疾患	%	52.7	100.0	60.6	100.0	65.1	26%	C	2									
	データなし	%	なし	100.0	63.5	100.0											指標の見直し		
	5.3.1 分煙を実施している家庭の増加〔重点項目〕	家庭で分煙を実施している割合	件	...	...	2	増加	3	—	A					4	4.0	H27年度	◎	
5.3.2 ニコチン代替療法を実施している医療機関数の増加(新設)		件	...	...	2	増加	3	—	A	4	4.0	H27年度	◎						
5.4.1 喫煙率の低下(成人)		成人の喫煙率	%	36.7	18.4	26.2	18.4	28.6	44%	C	2	2.5	アンケート調査	○					
5.4.2 妊娠中の喫煙率	妊娠中の喫煙率	%	...	...	5.7	0.0	2.5	56%	B	3	3.0		○						
平均値(加重平均)													2.9	3.2					

6. アルコール

(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)										中間評価			最終評価			データソース	今後の方向性	
区分	小区分	単位	基準・ 現状	目標	現状	目標	現状	達成 率	評価 区分	評価 得点	総合 評価 得点	区分	備考					
6.1.1 未成年者の飲酒をなくす	飲酒したことのある未成年者の割合	男	%	12.5	0.0	H29	H25	H29	6.7	46%	C	2	平成27年読売の 健康・栄養マップ	△				
		女	%	6.0	0.0	7.1	0.0	0.0	100%	A	4							
6.1.2 未成年者に飲酒をすすめる人の減少	未成年者に飲酒をすすめたことのある人の割合	男	%	データ なし	0.0	7.3	0.0	6.9	5%	C	2	△						
		女	%	なし	0.0	2.0	0.0	2.1	-5%	D	1							
6.2 「節度ある適度な飲酒」の知識の普及〔重点項目〕	「節度ある適度な飲酒」の知識を有する人の割合	男	%	データ なし	100.0	46.8	100.0					△	指標の見直し					
		女	%	なし	100.0	38.4	100.0											
6.3 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の減少〔変更新規〕〔重点項目〕	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	男	%	…	…	9.1	7.3	11.7	-144%	D	1	アンケート調査	△	指標の見直し				
		女	%	…	…	6.1	5.0	10.4	-391%	D	1							
6.4 飲酒習慣のある人で週に3日の休肝日を設けている人の増加〔重点項目〕	飲酒習慣のある人で週に3日の休肝日を設けている人の割合	男	%	-	36.4	22.8	36.4	40.7	132%	A	4	アンケート調査	○					
		女	%			49.6	59.5	70.2	208%	A	4							
平均値(加重平均)													2.4	2.4				

7. 歯の健康

(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)				中間評価				最終評価				データソース		今後の方向性		
区分	小区分	単位	基準・現状	目標	現状	目標	現状	達成率	評価区分	評価得点	総合評価得点		区分	備考		
				H29	H25	H29	H28									
●幼児期のう蝕予防(6項目)																
					%	63.3	80以上	82.5	93.0	85.9	B	3	3.5	3歳6か月児健診	○	
						1.56	1以下	0.59	0.52	0.48	104%	A	4			
					%	データなし	50以上	31.8	50以上	43.2	B	3	3.0	3歳6か月児健診質問票	○	
					%	データなし	80	83.6	100.0	88.1	C	2	2.0	ブラッシング教室アンケート	○	
					%	データなし	25.0	36.1	43.3	34.4	-24%	D	1	1.0	ブラッシング教室アンケート	○
				%	データなし	80.0	80.0	55.1	80.0	40.8	-57%	D	1	1.0	ブラッシング教室アンケート	○
●学齢期のう蝕予防(3項目)																
					%	49.1	58.9	62.3	63.7	65.9	115%	A	4	4.0	歯つらつしが21	○
						1.39	1以下	1.03	1以下	0.83	144%	A	4			
					%	データなし	90以上	40.7	90.0							指標の見直し
●成人期の歯周病予防(7項目)																
					%	データなし	100.0	39.3	100.0	41.8	C	2	2.0	アンケート調査	○	
	40歳以上	男	%	42.6	51.2	43.7	51.2	46.5	45%	C	2	3.0		参考：特定健診受診者(40歳～64歳)	○	
		女	%	43.7	52.4	48.1	52.4	53.3	110%	A	4					
	40歳以上	男	%	41.9	50以上	40.0	50以上	42.1	2%	C	2	2.5			○	
		女	%	47.8	50以上	54.1	66.3	58.2	56%	B	3					
	60歳代	%	50.4	65.0	57.4	65.0	59.1	60%	B	3	3.0		60歳～64歳の特定健診受診者(無回答を除く)	○		
	80歳以上	%	26.3	31.6	45.3	54.4									7.11.1に代表させる	
平均値(加重平均)													2.7	2.5		

8. 生活習慣病

（第1次）健康ごなん21計画（2008～2017）														最終評価				データソース		今後の方向性																							
区分				小区分		基準・現状		目標		現状		達成率		評価区分		評価得点		総合評価得点																									
												H16～18		H29		H28																											
●メタボリックシンドローム（7項目）																																											
8.1 ウエスト周囲径（腹囲）がメタボリックシンドロームの診断基準を超える人の減少〔重点項目〕														ウエスト周囲径がメタボリックシンドロームの診断基準を超える人の割合		40～64歳以下		男		%		48.0		38.4		54.0		48.6		52.9		20%		C		2		3.0		40歳～64歳特定健診結果		◎	
8.2 成人の肥満者の減少（栄養・食生活参照）〔重点項目〕																女		%		14.5		11.6		15.0		13.5		13.0		133%		A		4									
8.5 食事バランスガイドなどを参考に食生活を送る人の増加（栄養・食生活参照）〔重点項目〕														8.3 日常生活における歩数の増加（身体活動・運動参照）〔重点項目〕																										8.6 定期健康診査を受けている人の増加（健診参照）〔重点項目〕			
8.8 運動習慣者の増加（身体活動・運動参照）〔重点項目〕														8.4 運動習慣者の増加（身体活動・運動参照）〔重点項目〕																										8.7 たばこ対策の充実（たばこ参照）〔重点項目〕			

●糖尿病(1項目)

8.8 健診において糖尿病(疑いを含む)を指摘される人の割合	40～64歳以下	男	%	26.7	20.0	44.5	40.1	9.9	786%	A	4	4.0	アンケート調査(40歳～64歳)より算出	△
		女	%	19.4	14.6	44.3	39.9	2.3	955%	A	4			

●循環器病(5項目)

8.9 食塩摂取量の減少(栄養・食生活参照)														
8.10 カリウム摂取量の増加	1日あたりの平均カリウム摂取量			2.48	3.5以上	2.11	3.5以上	2.3	-20%	D	1	1.0	平成27年度滋賀の健康・栄養マップ	△
8.11 収縮期血圧の低下(変更新規)	収縮期血圧の平均値	男		...	...	130.9	126	129	35%	C	2	2.0	40歳～74歳特定健診結果	○
		女		...	...	129.2	124	128	19%	C	2			
8.12 脂質異常症の減少(変更新規)	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合	男	%	...	...	7.1	5.7	7.9	-57%	D	1	1.5	40歳～74歳特定健診結果	○
		女	%	...	...	15.0	12.0	14.0	33%	C	2			

8.13 飲酒対策の充実(アルコール参照)

●がん(8項目)

8.17 1日の食事に於いて、果物類を摂取している人の割合	1日の食事に於いて、果物類を摂取している人の割合		%	76.2	56.7	76.2	55.1	-8%	D	1	1.0		アンケート調査	△
8.15 食塩摂取量の減少(栄養・食生活参照)〔重点項目〕														
8.16 野菜摂取量の増加(栄養・食生活参照)〔重点項目〕														
8.18 脂肪エネルギー比率の減少(栄養・食生活参照)〔重点項目〕														

8.20 がん検診受診者の増加(健診参照)
8.21 乳がん自己検診率の増加(健診参照)

平均値(加重平均)	2.3	2.1
-----------	-----	-----

9. 健診

(第1次)健康こなん21計画(2008～2017)										中間評価			最終評価			データソース	今後の方向性	
区分	小区分	単位	基準・現状	目標	現状	目標	達成率	現状	評価区分	評価得点	総合評価得点	区分	備考					
			H16～18	H29	H25	H29	H28											
9.1 特定健診・特定保健指導を受けている人の増加(新規)[重点項目]	特定健診・特定保健指導を受けている人の割合	男	%	...	...	26.4	60.0	40.3	41%	C	2	1.8	H27湖南市特定健康診査・特定保健指導法定報告	○				
		女	%	...	...	36.3	60.0	48.3	51%	B	3							
		男	%	...	...	52.4	60.0	19.4	-434%	D	1							
		女	%	...	...	53.1	60.0	18.5	-501%	D	1							
9.2 成人健診を受けている人の増加(新規)[重点項目]	成人健診を受けている人数	人	...	...	281	337	475	346%	A	4	4.0	○						
		率	%	10.6	...	6.7	50.0	7.2	-9%	D	1							
		人数	人	1,223	1,833	830		892										
		率	%	...	...	6.7	50.0	3	0%	C	2							
9.3 がん検診を受診している人の増加	肺がん(新規)	人	...	...	381.0			389				◎						
		率	%	2.4	...	15.2	50.0	13	23%	C	2							
		人数	人	1,423	2,139	1,877		1,622										
		率	%	16.1	...	32.1	50.0	34	54%	B	3							
子宮がん	乳がん	人	830	1,244	1,712			1,705				2.2						
		率	%	17.5	...	28.5	50.0	36	58%	B	3							
		人数	人	406	610	1,176		1,515										
		率	%	7.3	8.8	20.4	24.5	13.2	34%	C	2							
9.4 乳がん自己検診を実施している人の増加	乳がん自己検診を実施している人の割合	毎月している										○						
		時々している	%	34.9	41.9	22.2	41.9	42.1	103%	A	4			3.0	同上			
平均値(加重平均)										2.3	2.7							

第2章 食育推進計画（第1次）

凡例： { ◎ 重点項目
○ 継続
△ 見直しの上継続

1) 子どもから大人までの生涯にわたる食育の推進

		湖南省食育推進計画(2008～2017)										中間評価				最終評価				データソース		今後の方向性				
		区分	小区分	単位	基準・現状	目標	現状	目標	現状	達成率	評価区分	評価得点	総合評価得点	現状	評価区分	評価得点	達成率	評価区分	評価得点	総合評価得点						
(1)家庭における食育推進	①「早寝・早起き・朝ごはん」市民運動の推進	幼児園児		%	-	100.0	69.5	100.0	68.3	-4%	D	1	1.5	アンケート調査	△											
		小学生		%	-	100.0	76.6	100.0	73.9	-12%	D	1														
		中学生		%	-	100.0	66.7	100.0	66.9	1%	C	2														
		成人		%	-	100.0	41.6	100.0	42.1	1%	C	2														
				%	データなし	60以上	46.0	60以上	44.5	-11%	D	1														
	②家族そろっての食事の推進	15～19歳	男	%	23.5	7以下	15.4	7以下	6.3	104%	A	4	3.0	平成27年滋養の健康・栄養マップ	○											
		20歳代	男	%	19.6	15以下	23.8	15以下	16.2	74%	B	3														
		新規	女	%	...	...	22.2	17.8	15.4	155%	A	4														
		30歳代	男	%	22.5	15以下	19.1	15以下	15.0	100%	A	4														
		新規	女	%	...	...	11.1	8.9	18.4	-332%	D	1														
		1～5歳		%	92.9	100	95.5	100.0	92.9	0%	D	1														
		小4～中3		%	87.8	100	82.4	100.0	80.0	-64%	D	1														
		小5	朝食	%	15.6	12.5	21.7	12.5	22.4	-219%	D	1														
			夕食	%	2.3	1.8	2.1	1.8	3.0	-140%	D	1														
		中2	朝食	%	40.3	32.2	44.9	32.2																		
			夕食	%	7.4	5.9	4.9	0.7																		
		針・菩提寺・石部		%	89.0	100.0	90.0	100.0	93.0	0.4	C	2														
		市民農園利用率		%			71/79区画		73/79区画												2.0	産業立地企画室	○			

		湖南省食育推進計画(2008～2017)										中間評価				最終評価				データソース		今後の方向性									
		区分		小区分		単位	基準・現状	目標	現状	目標	現状	達成率	評価区分	評価得点	総合評価得点																
(2) 保育園、幼稚園、小中学校における食育推進	②食に関する指導の充実、③食に関する啓発活動	児童・生徒の肥満児の割合	小学生	男	%	H19 5.7	H25 3.8	H29 3.0	28 4.8	33%	C	2	2.3	湖南の子どものからだ	○																
			女	%	3.2	2.6	2.2	3.4	-20%	D	1																				
			男	%	4.6	3.2	1.9	2.1	81%	B	3																				
			女	%	5.2	3.6	4.3	3.6	63%	B	3																				
	④地元農産物を取り入れた小中学校給食の実施 ⑥地域・家庭とつながる小中学校給食の実施	教科・総合学習と食育の関連した授業の実施校数(小学校)	教科	割合	%	77.8	100.0	100.0	100.0	100.0	1.0	A	4	2.5	学校教育課	△				指標の見直し											
			校数	校	7校/9校		9校/9校		9校/9校																						
			割合	%	66.7	100.0	88.9	100.0	66.7	0.0	D	1																			
			校数	校	6校/9校		8校/9校		6校/9校																						
			米	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.0	A	4																			
			味噌 その他農産物	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.0	A	4																			
(3) 地域における食育推進	①生活習慣病予防と食育推進	市で開催する食事あるいは運動に関する学習の場に参加したことがある人の割合 成人期の栄養に関する健康教育受講者および栄養相談者数 伝達料理講習会参加者数	成人	男	%	8.7	10.4	12.2	14.6	9.0	5%	C	2	3.0	アンケート調査	○															
			女	%	17.0	20.4	20.0	20.4	21.4	129%	A	4																			
			延べ人数	人	442	増加	523	増加	1,511	—	A	4																			
			延べ人数	人	741	増加	611	増加	737	—	D	1																			
	②高齢期の課題に応じた食育の実践	男性の料理教室受講者数 高齢者対象の健康教育受講者数	実人数	人	17	増加	15	増加	9	—	D	1	1.0	高齢福祉課	○																
			延べ人数	人	174	増加	180	増加	45	—	D	1																			
	③食育を実践するための人材育成	健康推進員のいない区の数 健康推進員の人数 女性のやせの者(BMI<18.5)の割合 成人の肥満者(BMI≧25.0)の割合 1日当たりの平均脂肪エネルギー摂取比率 1日当たりの平均食塩摂取量 1日当たりの平均野菜摂取量 野菜を多く食べるようにしている人の割合 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の言葉も意味も知っている人の割合 標準体重に近づけるよう、あるいは維持しよう心がけている人の割合 適正体重を維持していくために、何か意識的にしている人の割合	区数	人	91	増加	104	増加	102	—	A	4	2.0	健康政策課	○																
			女	%	20.8	15以下	28.3	15以下	19.5	22%	C	2																			
			男	%	27.9	15以下	28.5	15以下	25.1	22%	C	2																			
			女	%	19.4	10以下	19.7	10以下	16.6	30%	C	2																			
男			%	26.2	25以下	28.7	25以下	29.5	-275%	D	1																				
女			%	28.1	25以下	29.6	25以下	31.3	-103%	D	1																				
	1日当たりの平均食塩摂取量	成人	男	g	11.2	10未満	11.3	10未満	10.8	33%	C	2	2.5	平成27年滋養の健康・栄養マップ	○																
		成人	女	g	10.4	8未満	10.1	8未満	8.6	75%	B	3																			
	1日当たりの平均野菜摂取量	成人	g	245.4	350以上	251.1	350以上	290.1	43%	C	2	2.0	平成27年滋養の健康・栄養マップ	○																	
		成人	男	%	71.4	100	74.0	100.0	69.5	-7%	D										1										
	野菜を多く食べるようにしている人の割合	成人	女	%	84.4	100	85.0	100.0	81.1	-21%	D	1	1.0	アンケート結果	△					指標の見直し											
		成人	%	データなし	93.0	69.9	93.0	72.0	9%	C	2																				
		15歳以上	男	%	47.1	75以上	54.7	75以上	59.2	43%	C	2	2.0	平成27年滋養の健康・栄養マップ	△							指標の見直し									
			女	%	64.3	90以上	74.2	90以上	72.7	33%	C	2																			
			男	%	68.7	82.4	61.5	82.4	66.1	-19%	D	1											1.0	アンケート結果	◎						指標の見直し
			女	%	72.3	86.8	59.7	86.8	58.6	-94%	D	1																			
														平均値(加重平均)				2.1	2.0												

5)市民との協働による食育推進運動の展開

		湖南省食育推進計画(2008～2017)						中間評価		最終評価				データソース	今後の方向性				
		区分	小区分	単位	基準・現状		現状	目標	現状	目標	達成率	評価区分	評価得点		総合評価得点				
					H19	H29													
		健康こなん21計画				%	50.0	5.3	50.0	4.2	-2%	D	1	1.5	アンケート調査	△	7)に代表させる		
(3)食育推進運動の普及・定着	①「食育月間」「食育の日」の積極的な展開	毎年6月が食育月間であることを知っている人の割合				%	50.0	5.3	50.0	4.2	-2%	D	1	1.5					
		毎月19日が食育の日であることを知っている人の割合				%	50.0	6.1	50.0	6.5	1%	C	2						
															平均値(加重平均)			1.5	1.5

6 第2次計画の目標値一覧

第3章 健康づくりの推進(健康増進計画)

第1節 健康づくりを支える社会環境の整備

1 地域資源を活用した健康づくりネットワーク

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H28	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
地域活動を実施している人の増加	地域活動(まちづくり協議会、区・自治会主催の行事、地域のボランティア、老人クラブ、エルダー、婦人会、子ども会等)を実施している人の割合	65歳以上	男	%	37.5	41.4	H28健康づくり調査	悪化顕著の為、現状+3.9
			女	%	41.6	45.5	H28健康づくり調査	増加傾向で、現状+3.9
地域のつながりの強化	自分と地域につながりが強いほうだと思う割合	20歳以上	男女	%	45.9	50	H28健康づくり調査	今回より目標値とする。県に準ずる。

2 地域資源の活用・整備

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H29	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
健康づくりに取り組む市民の増加	健康づくりポイントの達成者	—	—	人	102	500	健康政策課	29年度の目標値
健康づくりに関するメニューに取り組むまちづくり協議会の増加	健康づくりに取り組むまちづくり協議会の数	—	—	—	3	7	まちづくり協議会事業実施報告書	まちづくり協議会の実施を100%

第2節 生活習慣病の発症予防と重症化予防

1 循環器疾患

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H28	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
◎重点項目 特定健診・特定保健指導を受けている人の増加	特定健診・特定保健指導を受けている人の割合	特定健診	男	%	40.3	60	H27 40～74歳特定健診	国の目標値に準ずる
			女	%	48.3	60	H27 40～74歳特定健診	国の目標値に準ずる
		特定保健指導	男	%	19.4	60	H27 40～74歳特定健診	国の目標値に準ずる
			女	%	18.5	60	H27 40～74歳特定健診	国の目標値に準ずる
◎重点項目 ウエスト周囲径(腹囲)がメタボリックシンドロームの診断基準を超える人の減少〔重点項目〕	ウエスト周囲径がメタボリックシンドロームの診断基準を超える人の割合	特定健診受診者のうち40～64歳	男	%	52.9	50.9	40～64歳特定健診	1.1改善、現状から2ポイント改善目指す
			女	%	13.0	12.0	40～64歳特定健診	前回からの伸び率から換算
成人健診を受けている人の増加	成人健診を受けている人の割合	成人健診19～39歳	男女	%	3.3	3.8	19～39歳成人健診受診率(分母:全人口)	前回からの伸び率から換算
収縮期血圧の平均値の低下	収縮期血圧の平均値	特定健診受診者のうち40～74歳	男	mmHg	129	127	40～74歳特定健診	1.9改善、現状から2ポイント改善目指す
			女	mmHg	128	127	40～74歳特定健診	1.2改善、現状から1ポイント改善目指す
脂質異常症の減少	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合	特定健診受診者のうち40～74歳	男	%	7.9	6.8	40～74歳特定健診	0.8悪化、現状から1.1ポイント改善目指す
			女	%	14.0	13.0	40～74歳特定健診	1.0改善、現状から2ポイント改善目指す

2 糖尿病

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H28	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
◎重点項目 糖尿病有病者の増加の抑制	特定健診受診者のうちHbA1c6.5%以上の者	40歳～74歳	男女	%	8.8	8.75	H28 40～74歳特定健診	県は現状8、目標8、増加の抑制のため、0.05改善目指す
治療継続者の割合の増加	特定健診受診者の受診勧奨値HbA1c6.5%以上の者のうち服薬中の者の割合	40歳～74歳	男女	%	59.1	64.1	H28 40～74歳特定健診	県は現状から目標10年で10.2改善目指していることから換算し、5改善目指す
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少	特定健診受診者のうちHbA1c8.4%以上の者の割合の減少	40歳～74歳	男女	%	0.8	0.75	H28 40～74歳特定健診	県は現状から目標10年で0.1改善目指していることから換算し、0.05改善目指す
合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の減少	糖尿病性腎症で新規に人工透析を実施した者	19歳～74歳	男女	人	3	0	更生医療診断書	

3 がん

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
がん検診を受診している人の増加	胃がん	率	—	%	43.5	50	H28健康づくり調査	国・県の目標値に準ずる
	肺がん	率	—	%	24.1	50	H28健康づくり調査	国・県の目標値に準ずる
	大腸がん	率	—	%	41.4	50	H28健康づくり調査	国・県の目標値に準ずる
	子宮がん	率	—	%	62.4	63.7	H28健康づくり調査	国・県の目標値を達しているため、現状より増加を目指す
	乳がん	率	—	%	56.7	57.3	H28健康づくり調査	国・県の目標値を達しているため、現状より増加を目指す
乳がん自己検診を実施している人の増加	乳がん自己検診を実施している人の割合	毎月している人の割合	全受診者	%	29.3	35.7	H28乳がん検診票	第1次は集団検診のみで評価していた。医療機関検診も含め、市の伸び率から換算

4 慢性閉塞性肺疾患（COPD）

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知度の向上	慢性閉塞性肺疾患（COPD）を知っている人の割合	20歳以上	男女	%	18.5	50	H28健康づくり調査	国・県の伸び率に準ずる

第3節 各分野における健康づくりの推進

1 栄養・食生活

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
◎ 重点項目 朝食を欠食する人の減少	朝食を欠食する人の割合	5歳児	男	%	4.3	3.6	H28健康づくり調査	現状の約15%減
			女	%	4.8	4.1	H28健康づくり調査	現状の約15%減
		小5	男	%	11	9.3	H28健康づくり調査	現状の約15%減
			女	%	6.6	5.6	H28健康づくり調査	現状の約15%減
		中2	男	%	12.3	10.4	H28健康づくり調査	現状の約15%減
			女	%	8.8	7.5	H28健康づくり調査	現状の約15%減
		20歳代	男	%	16.2	14.5	H28健康づくり調査	10年間の減少率×1/2に合わせる
			女	%	15.4	13.7	H28健康づくり調査	男性の減少率×1/2に合わせる
		30歳代	男	%	15	12.9	H28健康づくり調査	前回からの減少率×1/2に合わせる
			女	%	18.4	16.3	H28健康づくり調査	男性の減少率×1/2に合わせる
		20歳以上	男	g	305	350	H27滋養の健康栄養マップ調査	健康日本21
			女	g	278	350	H27滋養の健康栄養マップ調査	健康日本21
◎ 重点項目 野菜摂取量の増加	1日当たりの平均野菜摂取量	20歳以上	男	g	278	350	H27滋養の健康栄養マップ調査	健康日本21
◎ 重点項目 食塩摂取量の減少	1日当たりの平均食塩摂取量	20歳以上	男	g	10.8	8	H27滋養の健康栄養マップ調査	日本人の食事摂取基準
脂肪エネルギー比率の減少	1日当たりの平均脂肪エネルギー摂取比率	20～40歳	男	%	29.5	29	H27滋養の健康栄養マップ調査	日本人の食事摂取基準
		20～40歳	女	%	31.3	30	H27滋養の健康栄養マップ調査	日本人の食事摂取基準
バランスの良い食事をしている人の増加	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	20歳以上	男女	%	—	70	—	国の目標値に準ずる
適正体重を維持している人の増加	児童・生徒の肥満児の割合	小学生	男	%	4.8	4.3	湖南の子どものからだ	10年間の減少率×1/2に合わせる
			女	%	3.4	2.9	湖南の子どものからだ	悪化のため、策定時目標値の率×1/2に合わせる
		中学生	男	%	2.1	1.9	湖南の子どものからだ	悪化のため、前回現状に戻す
			女	%	4.2	3.7	湖南の子どものからだ	10年間の減少率×1/2に合わせる
	女性のやせの者（BMI＜18.5）の割合	15～29歳	女	%	19.5	18.8	H27滋養の健康栄養マップ調査	10年間の減少率×1/2に合わせる
	成人の肥満者（BMI≥25.0）の割合	20～60歳代	男	%	25.1	23.7	H28健康づくり調査	10年間の減少率×1/2に合わせる
		40～60歳代	女	%	16.6	15.2	H28健康づくり調査	10年間の減少率×1/2に合わせる

2 身体活動・運動

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
◎ 重点項目 日頃から自分の健康づくりのために意識的に運動を実行している人の増加	日頃から自分の健康づくりのために意識的に運動を実行している人の割合	20歳以上	男	%	30.0	31.5	H28健康づくり調査	目標値に到達していないため現状+1.5
			女	%	32.4	33.4	H28健康づくり調査	目標値に到達していないため現状+1
徒歩10分で行けるところへ出かける時、主に徒歩で出かける人の増加	徒歩10分で行けるところへ出かける時、主に徒歩で出かける人の割合	20歳以上	男	%	39.1	40.6	H28健康づくり調査 （保健事業参加者アンケート参考値）	悪化しており、現状+1.5
			女	%	40.7	42.9		中間評価より4.3改善、現状+2.2
1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している人の増加	1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している人の割合	20歳以上	男	%	16.2	16.4	（成人特定健診受診者質問票参考値）	悪化しており、現状+0.2
			女	%	16.6	17.1		中間評価より1改善、現状+0.5
運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていない児の減少	小学5年生	男	%	32.9	31.5	（全国体力・運動能力運動習慣等調査）	現状しかないため、現状-1.4
			女	%	57.0	56.0		現状しかないため、現状-1.0

3 休養・こころの健康・生きがい

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H28	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
最近1ヶ月間にストレスを感じた人の減少	最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合	20歳以上	男	%	54.6	49以下	H28健康づくり調査	目標に到達せず、目標値維持
			女	%	68.6	49以下	H28健康づくり調査	目標に到達せず、目標値維持
睡眠による休養を十分にとれていない人の減少	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合	20歳以上	男	%	24.1	19.0	(19歳～69歳健診受診者問診票)	悪化顕著の為、目標値変更
			女	%	19.5	16.2		横ばい傾向、目標値維持
自殺者の減少	自殺者数	計	男女	人	10	0	内閣府。厚生労働省自殺者統計	
生きがいをもっている人の増加	生きがいをもっている人の割合	20歳以上	男女	%	84.5	84.8	H28健康づくり調査	横ばい傾向、現状+0.3
地域活動を実施している人の増加(再掲)	地域活動を実施している人の割合	65歳以上	男	%	37.5	41.4	H28健康づくり調査	悪化顕著の為、現状+3.9
			女	%	41.6	45.5	H28健康づくり調査	増加傾向で、現状+3.9
地域のつながりの強化(再掲)	自分と地域につながりが強いほうだと思う割合	20歳以上	男女	%	45.9	50	H28健康づくり調査	今回より目標値とする。県に準ずる。

4 たばこ

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H28	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
◎重点項目 喫煙率の低下(成人)	成人の喫煙率	20歳以上	男	%	28.6	26.3	H28健康づくり調査(成人特定健診受診者質問票)	現状から2.4悪化、前回目標-2.3
			女	%	6.6	4.4		現状から1.1悪化、前回目標維持
未成年者の喫煙をなくす	未成年者の喫煙率	15～19歳	男	%	0	0	H27滋賀の健康栄養マップ調査	
			女	%	0	0	H27滋賀の健康栄養マップ調査	
妊娠中の喫煙率の低下	妊娠中の喫煙率	妊娠中	女	%	3.2	0	(4か月健診質問票)	
乳幼児のいる保護者の喫煙率の低下	1歳6か月児の保護者	1歳6か月児の保護者	父	%	39.9	38.6	(1歳6か月児健診受診者質問票)	今回からの新目標。H27→H28の伸び率から換算。
			母	%	8.2	7.6		今回からの新目標。H27→H28の伸び率から換算。
家庭(*非喫煙者が毎日受動喫煙の機会を有する割合の減少)	家庭(*非喫煙者が毎日受動喫煙の機会を有する割合の減少)	20歳以上	男女	%	15.2	14.9	H28健康づくり調査	前回より0.3改善、現状-0.3

5 アルコール

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H28	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
未成年者の飲酒をなくす	飲酒したことのある未成年者の割合	15～19歳	男	%	6.7	0	H27滋賀の健康栄養マップ調査	
			女	%	0	0	H27滋賀の健康栄養マップ調査	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	20歳以上	男	%	11.7	11.3	H28健康づくり調査	2.6悪化、現状から-0.4
			女	%	10.4	9.6	H28健康づくり調査	4.3悪化、現状から-0.8
飲酒習慣のある人で週に3日の休肝日を設けている人の増加	飲酒習慣のある人で週に3日の休肝日を設けている人の割合	20歳以上	男	%	40.7	50.2	H28健康づくり調査	大幅な改善、現状+9.5
			女	%	70.2	77.7	H28健康づくり調査	大幅な改善、現状+7.5

6 歯・口腔の健康

目標	指標	区分	小区分	単位	現状 H28	目標 H34	データソース	目標設定の考え方
◎重点項目 定期的に歯科健診を受診している人の増加	定期的に歯科健診を受診している人の増加	40歳以上	男	%	46.5	47.9	H28健康づくり調査	前回からの伸び率から換算
			女	%	53.3	55.9	H28健康づくり調査	前回からの伸び率から換算
3歳児のむし歯の減少(むし歯のない子)	むし歯のない3歳児の割合	3歳児	男女	%	85.9	90	3歳6か月児健診	県の目標値に準ずる
	3歳児の1人平均むし歯本数	3歳児	男女	本	0.48	0.46	3歳6か月児健診	前回からの伸び率から概ね換算
12歳児の永久歯1人平均のむし歯本数の減少(むし歯のない子)	むし歯のない12歳児の割合	12歳児<中1>	男女	%	65.9	67.4	歯つらつしが21(中1)	前回からの伸び率から概ね換算
	12歳児の永久歯1人平均のむし歯本数	12歳児<中1>	男女	本	0.83	0.73	歯つらつしが21(中1)	前回からの伸び率から換算
60歳代で24本以上歯を有すると答えた人の増加	60歳代で24本以上歯を有すると答えた人の割合	60歳代	男女	%	59.1	59.9	H28健康づくり調査	前回からの伸び率から換算
80歳で20本以上の自分の歯を有する人の増加	80歳代で20歯以上の自分の歯を有する人の割合	80歳代	男女	%	32.0	50.0	H27滋賀の健康栄養マップ調査	前回からの伸び率、国の目標値による

第4章 食育の推進(食育推進計画)

1 家庭における食育の推進

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
◎重点項目 朝食を欠食する人の減少(再掲)	朝食を欠食する人の割合	5歳児	男	%	4.3	3.6	H28健康づくり調査	現状の約15%減
			女	%	4.8	4.1	H28健康づくり調査	現状の約15%減
		小5	男	%	11	9.3	H28健康づくり調査	現状の約15%減
			女	%	6.6	5.6	H28健康づくり調査	現状の約15%減
		中2	男	%	12.3	10.4	H28健康づくり調査	現状の約15%減
			女	%	8.8	7.5	H28健康づくり調査	現状の約15%減
		20歳代	男	%	16.2	14.5	H28健康づくり調査	10年間の減少率×1/2に合わせる
			女	%	15.4	13.7	H28健康づくり調査	男性の減少率×1/2に合わせる
		30歳代	男	%	15	12.9	H28健康づくり調査	前回からの減少率×1/2に合わせる
			女	%	18.4	16.3	H28健康づくり調査	男性の減少率×1/2に合わせる
家族そろっての食事の推進	ひとりで食事をしている子の割合	小5	朝食	%	22.4	20.8	H28健康づくり調査	10年間の減少率×1/2に合わせる
			夕食	%	3	2.7	H28健康づくり調査	10年間の減少率×1/2に合わせる
バランスの良い食事をしている人の増加(再掲)	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合	成人		%	—	70	—	国の目標値に準ずる

2 保育園、こども園、幼稚園、小中学校における食育推進

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
◎重点項目 子どもを対象とした食に関する体験活動の推進	体験学習取り組み実施園の割合	園	—	%	100	100	各園へのアンケート	100%の維持
	体験学習取り組み実施小中学校の割合	健康推進員の食育教室	—	%	53.8 (7/13校)	69.2 (9/13校)	湖南省健康推進員協議会	小学校での実施を少しずつ増加
食に関する指導の充実、食に関する啓発活動	児童・生徒の肥満児の割合(再掲)	小学生	男	%	4.8	4.3	湖南の子どものからだ	10年間の減少率×1/2に合わせる
			女	%	3.4	2.9	湖南の子どものからだ	悪化のため、策定時目標値の率×1/2に合わせる
		中学生	男	%	2.1	1.9	湖南の子どものからだ	悪化のため、前回現状に戻す
			女	%	4.2	3.7	湖南の子どものからだ	10年間の減少率×1/2に合わせる
	食に関する指導の取り組み実施園の割合			%	100	100	各園へのアンケート	100%の維持
地元農産物を取り入れた小中学校給食の実施	学校給食における地元農産物の利用割合	米		%	100	100	学校給食センター	100%の維持
		味噌		%	100	100	学校給食センター	100%の維持
		その他農産物		%	7.0	7.7	学校給食センター	10年間の減少率×1/2に合わせる

3 地域における食育推進

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
◎重点項目 生活習慣病予防と食育推進	成人期の栄養に関する健康教育受講者および栄養相談者数	—	延べ人数	人	1,511	増加	健康政策課事業実施記録	現状維持もしくは増加
	伝達料理講習会参加者数	—	延べ人数	人	737	増加	湖南省健康推進員協議会	現状維持もしくは増加
食育を実践するための人材育成	健康推進員の人数	—	—	人	102	108	湖南省健康推進員協議会	10年間の増加数×1/2に合わせる
	健康推進員のいない区の数	—	区数	区	7区/43区	0区	湖南省健康推進員協議会	すべての区に健康推進員を

4 市民との協働による食育推進運動の展開

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
食育に関心のある人、実践する人を増やす	食育に関心のある人の割合	—	—	%	63.4	65.0	H28健康づくり調査	前回の悪化率の2倍改善する
	食育を実践している人の割合	—	—	%	46.1	49.5	H28健康づくり調査	前回の増加率に合わせる

5 環境と共生した食育の推進と食を通じた様々な交流の促進

目標	指標	区分	小区分	単位	現状	目標	データソース	目標設定の考え方
					H28	H34		
環境こだわり農業の理解促進	環境こだわり農産物の栽培面積	—	—	ha	315	345	農林保全課	県の伸び率に準ずる
農業に関する体験活動の実施	農業体験を経験した人の割合	20歳以上	—	%	—	40.0	—	国の目標値に準ずる
伝統的な食文化の継承	地域の郷土料理・伝統料理を知っている人の割合	20歳以上	—	%	66.8	70.0	H28健康づくり調査	現状以上をめざした上で、きりの良い数字とした
食品ロス削減	食べ残しを作らない努力をしている人の割合	20歳以上	—	%	89.8	92.0	H28健康づくり調査	国の目標値に準じ、現状以上をめざす

健康こなん21計画
(健康増進計画・食育推進計画)
(第2次)

発行年月：平成30年(2018年)3月

発行：湖南省

編集：湖南省健康福祉部健康政策課

〒520-3288

滋賀県湖南省中央一丁目1番地

電話 0748-72-1290(代)
